



さつき沼ビオトープ

里山ゾーン

インセクトホテル

Insect Hotel 虫子酒店 벌레 호텔

虫

ホテル（インセクトホテル、バグホテル）は、カリバチの仲間やハナバチの仲間のような単独行動性のハチが巣を作ったり、チョウやガのサナギ、そしてテントウムシなどが越冬するための場所です。木で作った枠に、アシの茎や枯れ枝、竹、落ち葉、使い終わった割りばし、陶器のかけらなどをつめ込み、日当たりのよい場所におくことで、いろいろな動物が住むことができる場所になります。

私

たちは虫を「害虫」と「益虫」にわけて説明することがあります。しかし、一見害虫と見える虫も益虫のエサとなっていたり、刺すから怖いと思われているハチも、実は果物の受粉には欠かせない存在だったりします。そんな虫たちを益虫害虫関係なくインセクトホテルに呼ぶことで、様々な生き物が住むことができる、生物多様性に富んだ公園や庭を作ることができます。